

保険選びのためのポイント①

～ ご家族にとって必要な保険の目的を考える ～

* 遺族保障

遺族の生活費を準備する
お葬式費用を準備する

* 医療保障

入院するための費用を準備する
治療するための費用を準備する

* 介護保障

介護するための費用準備する

* 所得補償

働けなくなったときの生活費を準備する

* 学資

大学進学のコストを準備する

* 老後の生活費

老後の生活費を準備する

* 火災

火事が起きたときの建替え費用・修理費用を準備する。

* 賠償するための費用

他人に損害を与えてしまった時に、その賠償費用を準備する

あなたのご家庭では、どれが必要ですか？

優先順位をつけてください。

保険選びのためのポイント②

～ 必要な目的が決定したら**保険の選択基準作り** ～

目的

保険
金額

保険
期間

払込
期間

保険の目的が決定したら・・・

必要な「**保険金額**」、必要な「**保険期間**」、支払可能な「**払込期間**」「**払込保険料**」を検討する。

保険金額の決定

* 遺族保障

* 必要保障額の考え方

* 支出予測金額

(生活費・住宅関係費用・教育費
社会保険料・葬儀費用・負債等)

* 収入予測金額

(遺族年金・中高齢寡婦加算・妻
の老齢年金・妻の収入・死亡退職

—) 金・貯蓄等)

不足金額 = 必要保障額

各ご家族によって金額は様々です

* 医療保障

* 必要保障額の考え方

* どのくらいかかるかわからない

* 現状の入院時自己負担額は？

平均 19,800円

およそ3分の2の人が10,000円以上

* 入院日数は医療技術や政策により
短期化の傾向(平均19.1日)

* 8割以上の人が1ヶ月以内の入院

(H28年度生命保険文化センター)



60日型で入院日額10,000円
不足が発生する場合は貯蓄から補填する

保険期間の設定

遺族保障

目的:①遺族の生活費の確保
②葬儀費用の確保

①遺族の生活費の確保

サラリーマン 退職までの期間

自営業 勇退までの期間

- ・子供たちは独立して、妻の生活費のみが必要
- ・退職金や老後の貯蓄があれば、保険で準備する必要がなくなる。

②葬儀費用の確保

何時起るかわからないので保険期間は**終身**が理想。

医療保障

目的:入院費・治療費の確保

・病気・けがは何時起るかわからない

・老後のほうが入院する確立が高い

上記のような理由で・・・

医療保障の保険期間は

終身が理想

払込期間の設定

遺族保障

- ①遺族の生活費の目的の保険
サラリーマン 退職するまで
自営業 勇退するまで
- ②葬儀費用の準備目的の保険
(終身死亡保険)
サラリーマン 退職するまで
自営業 勇退するまで
収入が有るうちに払い終える
ことが理想

医療保障

入院費・治療費を確保するための
保険(終身医療保険)

サラリーマン 退職するまで
自営業 勇退するまで

収入の有るうちに払い終える

短期間で保険料を払込と保険料が高くなる。
月々の支払いが厳しい場合は、終身払い
を選択もOK。現在の**収入と支出のバラン
スも重要。**



終身払い選択の場合の注意点
年金生活になっても払える金額
に抑える

保険見直しのタイミング

ご家族の状況に変化があった時が、見直しのタイミング

必要と思われる保険

・医療保険

- ・がん(三大疾病)保険

できれば

- ・終身死亡保障
 - ・個人年金保険
- 必要に応じて
- ・自動車保険

・医療保険

- ・がん(三大疾病)保険

・終身保険

- ・個人年金保険

心配であれば

- ・遺族保障保険

・遺族保障

・医療保険

- ・がん(三大疾病)保険

・終身保険

- ・学資保険

必要に応じて

- ・介護保険

- ・火災保険

- ・自動車保険

・医療保険

- ・がん(三大疾病)保険

・終身保険

- ・介護保険

- ・火災保険

- ・自動車保険



独身

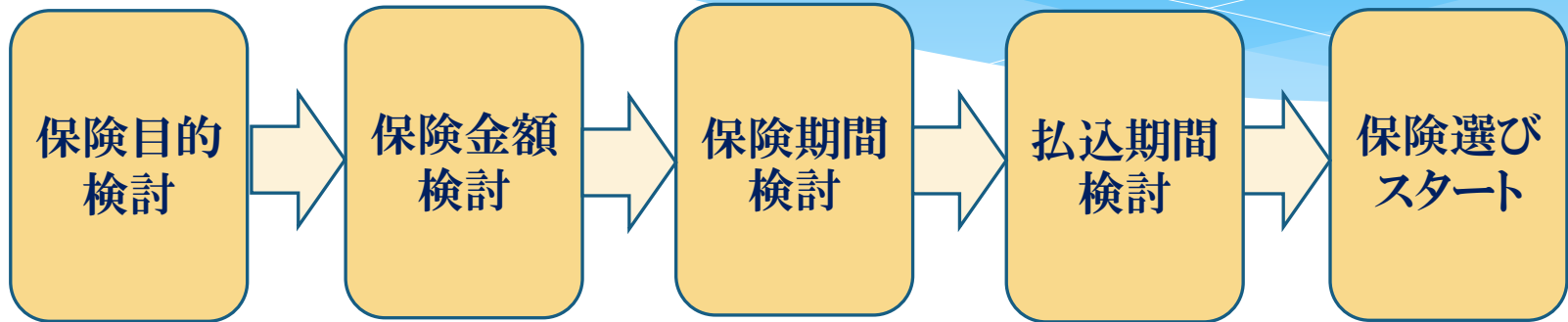
ご夫婦2人

子育て

老後

保険選びのポイントのまとめ

・保険選びのプロセス



- ・「保険選びの基準作り」は、保険のプロに相談すると早い。
- ・プロセスを踏まずに、いきなり保険を勧めてくる営業は要注意。
- ・ご家族のニーズにあったオーダーメイドの保険選びをお手伝いいたします。